

## 工学部分館「入門編」 2009年度版

### 開館時間

通常 → 平日：8:50～20:50 土曜：10:20～18:50

休業期間中 → 平日：8:50～17:00 土曜：休館\*

\*夏期休業期間は土曜短縮開館（13:20～16:50）をします。

### 貸出・返却

図書は学生証（ICカード）で貸出をします。雑誌は貸出票、一時持出票で行います。

- ・図書：1～3年生→5冊（14日）、4年生→10冊（28日）、院生→15冊（28日）
- ・雑誌（製本）：大学院生 5冊（7日）\*学部生は一時持出のみ（学生証を添えて）
- ・視聴覚資料：5点

図書の予約もできます。カウンターに申し出てください。図書館OPAC(Web)画面で予約することもできます。

返却はカウンターへ。閉館中は玄関脇のブックポストへ。（視聴覚資料はカウンターのみ）

### 新聞

朝日、読売、毎日、茨城、日経、日刊スポーツ、Japan Times、日刊工業新聞、東亜日報、人民日報、TAIWAN Journal、FujiSankei Business i

当日分と前日分はブラウジングコーナーで閲覧可。それ以前の分(6ヶ月)は書庫に保存。

朝日新聞縮刷版→書庫に保存

**1F コピー機（私費用）** 学習目的に限って図書館所蔵資料の一部分を1部だけコピー可（著作権法第31条による）。文献複写申込書に記入してコピー。コピーカード又は硬貨。

**\*IT基盤センター自由学習室（パソコン室）：** 図書館通用口から入れます。

インターネットを利用できるPC47台。IT基盤センターのIDでログイン。開館時間中図書館から出入りできます。 通り抜けは静かに！！

### 図書購入リクエスト

「学生図書リクエスト用紙」（カウンターにある）に記入してください。

図書館に備え付けて欲しい図書をリクエストできます。

### 文献複写依頼（他大学からコピーを取り寄せる）

→文献複写申込書（カウンターにある）でカウンターに申し込み。コピー代+郵送料がかかります。

### 図書貸借依頼（他大学から図書を借りる）

→図書借受申込書（カウンターにある）でカウンターに申し込み。往復の送料がかかります。

**資料の配置：** 1F 開架は和洋混配、2F 書庫は和洋別に配架しています。2F 書庫は自由に入れます。

図書：

- ・工学部分館－開架 → 1F 閲覧室内の学生用図書
- ・工学部分館－書庫 → 2F
- ・工学部分館－教養教育 → 1F 閲覧室内の事務室寄りの壁際
- ・工学部分館－参考 → 1F 閲覧室の入口近くのコーナー、事典、辞書等。

雑誌：工学部分館－P 雑誌

- ・新着雑誌（図書館配架分）→ 2F 雑誌室（学生用雑誌は 1F 閲覧室に）
- ・製本雑誌
  - 全ての和雑誌 → 2F 書庫（集密書架）
  - 1987年以降の洋雑誌 → 2F 書庫（請求記号順）
  - 1986年以前の洋雑誌 → 2F 書庫（集密書架）

**蔵書検索（OPAC）** <http://opac.lib.ibaraki.ac.jp/opc/>

図書館の蔵書検索をして、図書館に配架してある図書は直接書架で利用します。

●検索時の注意点

1. 単語をスペース（全角も可）で区切って入力  
「自動制御」は、自動 制御 と入力する。  
例：「機械工学ハンドブック」は、機械 工学 ハンドブック と入力する。
2. 著者をフルネームで検索する場合は、姓と名の間に必ずスペースをいれる。
3. 外国人著者は、元綴り（カタカナでなくオリジナルの表記）で入力するほうがよい。

●検索結果

図書館の資料は、請求記号順に並んでいる。

OPAC では、図書に貼ってある3段の請求記号ラベルを：（コロン）で区切って横に記載。

請求記号の一段目は、分野別10区分（0～9）の分類番号

0：総記

1：哲学、心理学、宗教

2：歴史、地理

3：社会科学（政治、法律、経済、社会、労働、教育、民俗・人類学、軍事）

4：自然科学

5：工学、工業

51：建設工学・土木工学

52：建築学

53：機械工学

54：電気工学

55：海洋工学・船舶工学

56：金属工学・鉱山工学

57：化学工業

58：製造工業

59：生活科学・家政学

6：産業（農業、商業、等々）

7：芸術、スポーツ

8：語学

9：文学

図書館ホームページ <http://www.lib.ibaraki.ac.jp/>